

じりん子のやくそく

川口市立慈林小学校

1 家を出るとき

- ・忘れ物がないように、確認して家を出ましょう。
- ・通学帽子をかぶりましょう。

2 登校するとき

- ・通学班で並んで安全に登校しましょう。
- ・班の集合時刻を守りましょう。
- ・出会った人に、気持ちのよいあいさつをしましょう。
- ・校門を通ったら、すぐに教室に入りましょう。

3 学校では

- ・いつも気持ちのよいあいさつをしましょう。
- ・名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事をしましょう。
- ・ていねいな言葉づかいをしましょう。
- ・集会ではきちんと並び、静かに話を聞きましょう。
- ・時間・時刻を守りましょう。
- ・ろう下や階段は静かに右側を歩きましょう。
- ・みんなの物を大切にしましょう。
- ・協力して、静かにそうじをして、きれいにしましょう。
- ・晴れている日は、外で元気に遊びましょう。
- ・校庭の使い方を守りましょう。
 - ・赤・黄色のコーンが立っているときは、使えません。
 - ・コンクリート部分での鬼ごっこやかかけっこはしません。
 - ・校舎の裏側(学校菜園側)や駐車場側には行きません。



4 授業では

- ・話をよく聞き、進んで意見を言いましょう。
- ・わからないときはわからないことを伝えましょう。
- ・授業に必要なものだけ出して、学習をしましょう。
- ・準備をしてから休み時間にしましょう。



5 自分のことは自分で

- ・登校したら、名札をつけましょう。
- ・身だしなみを整えましょう。上着や上ばきの着方、はき方をきちんとしましょう。
- ・身の回りの整理整頓をしましょう。
(机の中、ロッカー、ろう下のフック、くつ箱、かさ立てなど)
- ・はき物のかかとはいつもそろえましょう。
- ・手洗い(うがい、歯みがき)をしましょう。



6 下校では

- ・帰りの準備をしっかりと、忘れ物がないように確かめましょう。
- ・寄り道をせず、通学路を通して安全に帰りましょう。
- ・不審者に気を付けて、できるだけ友達といっしょに帰りましょう。
- ・下校時刻を守りましょう。

7 放課後は

- ・断りなく、校舎に入りません。
- ・忘れ物は基本的に取りに来ません。万が一取りに来る場合は、お家の人と来て、職員玄関から入ります。
- ・自転車で校庭に遊びに来るときは、決められた場所にきちんと並べて停めます。
正門：正門外の歩道に横に並べます。
西門：①うさぎ小屋前の駐輪場に並べます
②西昇降口側のテニスコートにブロック塀を前にして並べます。
- ・校庭にお菓子は持ってきません。
- ・校庭を使える時間を守って遊びます。暗くなる前に家に帰ります。
(2月～10月：午後5時まで 11月～1月：午後4時30分)
- ・原則として、子どもだけで、学区外には遊びに行きません。

8 生活目標

学期	1学期			2学期				3学期			
重点	基本的生活習慣の確立			好ましい人間関係の育成				自発的な行動力の育成			
生活目標	あいさつを返そう、	時刻を守って生活しよう	黙働清掃できれいにそうじしよう	一学期のまとめをしよう	気持ちのよいあいさつをしよう	相手の話をしっかりと聴こう	友達の気持ちを考えて行動しよう	二学期のまとめをしよう	よりよいあいさつをしよう	自分のできることをすすんでしよう	一年間のまとめをしよう

ご家庭へのお願い

- ・欠席・遅刻は欠席連絡フォームを使って知らせてください。
- ・早退・体育の見学などの連絡は連絡帳を使ってください。
原則として、緊急時以外は電話は使わないようにしてください。
- ・安全確保のため、遅刻・早退させる時は学校の教室まで送り迎えをしてください。
- ・学習に必要なものを、学校に持ってこさせないでください。
- ・早寝・早起き・朝ごはん・朝ウンチなど、規則正しい生活をさせてください。
- ・自転車は保護者の監督のもとに、安全に気をつけて乗せてください。
- ・児童のみでの自転車の使用は3年生以上とします。
(3年生は交通安全教室の後から使用可とします。)
- ・プールや補習などで学校に来るときは自転車を使わせないでください。
髪を染めることやマニキュア、ピアスは禁止です。
- ・エアガンなど危険な玩具を使わせないでください。
- ・公道でローラースケート、キックボード等は使用させないでください。
- ・小学生らしいお金の使い方を考えさせてください。
- ・子どもだけで遠出をしたり、ゲームセンターやショッピングセンターなどに行かせないでください。
- ・児童の安全確保のために下校時刻前後には、可能な限り家の外に出て児童の下校の様子を見てあげてください。
- ・携帯電話やスマートフォン、ゲームなどの使用については安易に与えず、家庭でよく考え、使わせてよいかどうか適切な判断を行ってください。また、使用する場合には、正しい使い方を教えるとともにルールを必ず決めて、守らせましょう。ルールが守られない場合、使用させないなど行動にも責任をもたせるようにしましょう。